

県立学校振興計画に係る新校の校名案の候補

## ○校名案の候補

新校 (仮称)	校名案の候補 (50 音順)		
周桑	①いしづち ④こまつ ⑦ <small>つばき</small> 椿 ⑩ <small>みと</small> 水都	② <small>いしづち</small> 石鋸 ⑤ <small>こまつ</small> 小松 ⑧ <small>つばきやま</small> 椿山	③ <small>きょうそう</small> 教創 ⑥ <small>しゅうそう</small> 周桑 ⑨ <small>ひすい</small> 緋翠
西条総合 科学	① <small>いしづちじつぎょう</small> 石鋸実業 ④ <small>さいか</small> 才華 ⑦ <small>とうよ</small> 東予 ⑩ <small>とうよそうごう</small> 東予総合	② <small>いろはそうごう</small> 彩華総合 ⑤ <small>さいじょうぎじゅつ</small> 西条技術 ⑧ <small>とうよぎじゅつ</small> 東予技術 ⑪ <small>とうよそうごうかがく</small> 東予総合科学	③ <small>おうか</small> 桜果 ⑥ <small>さいじょうそうごうかがく</small> 西条総合科学 ⑨ <small>とうよこうか</small> 東予工科
しまなみ 海洋	① <small>いまばりしま</small> 今治島 ④ <small>しまなみかいよう</small> しまなみ海洋	② <small>きょうけい</small> 橋繫 ⑤ <small>せとうちそうか</small> 瀬戸内湊果	③しまなみ ⑥ <small>はくおお</small> 伯大
八幡浜	① <small>はっせき</small> 八石ミライ	② <small>やわたはま</small> 八幡浜	③ <small>やわたはまそうごう</small> 八幡浜総合
宇和島南	① <small>あいうみ</small> 愛海 ④ <small>うわじまなんすい</small> 宇和島南水 ⑦ <small>なんかいわせ</small> 南海早生	② <small>うわじましやうなん</small> 宇和島翔南 ⑤ <small>うわじまみなみ</small> 宇和島南 ⑧ <small>みなみ</small> 美波	③ <small>うわじまなみき</small> 宇和島南海輝 ⑥ <small>なんかい</small> 南海
愛媛風早	① <small>えひめかざはや</small> 愛媛風早 ④ <small>ふうこう</small> 風光	② <small>かざはや</small> 風早 ⑤ <small>ほうじょう</small> 北条	③ <small>かざはやせいしん</small> 風早清新

○周桑高校（仮称）における校名案の候補及びその理由等

※50音順

校名案 ※（ ）は読みがな			中学校や高校から提出された思いや願い、考えた理由
愛媛県立	いしづち	高等学校	小松高校の校地にできるので、四国最高峰の石鎚山を南に仰ぐ、旧小松町の土地になじみやすい校名にしました。柔らかく親しみやすい印象を与えるひらがな表記にしました。
愛媛県立	石鎚 (いしづち)	高等学校	近くにある石鎚山のように勇ましく堂々とそびえ立つ高校や、石鎚山に見守られた誇り高い高校になってほしいという思いを込めました。
愛媛県立	教創 (きょうそう)	高等学校	教育を地域で創ることを意味する校名です。入学生が新しい教育を自ら創っていくような高校になってほしいという願いが込められています。
愛媛県立	こまつ	高等学校	小松の地名を残しつつ、ひらがな表記の新しいイメージにしました。近藤篤山先生の教えを胸に、知識や教養を身に付けた、自らを誇れる高校になってほしいです。
愛媛県立	小松 (こまつ)	高等学校	小松高校の場所にできる学校なので、地域の名前をそのまま残しました。近藤篤山先生の教えを引き継ぎながら、地域社会に貢献できる学校になってほしいです。
愛媛県立	椿 (つばき)	高等学校	小松を代表する椿の「控えめなすばらしさ」「謙虚な美德」という花言葉のように、優しく温かい生徒が通う、地域から愛され、個性が咲き誇る学校になってほしいです。
愛媛県立	椿山 (つばきやま)	高等学校	日々勉学、運動に努め、よりよい高校生活を送ってほしいと思い、「椿山」の「椿」は小松の有名な花から、「山」は近藤篤山先生の名前、石鎚山から名付けました。
愛媛県立	緋翠 (ひすい)	高等学校	生徒たちが何事にも興味を持って取り組みながら活発に学校生活を送る姿や、人と人をつなぐ明るいイメージの学校を想像して考えました。
愛媛県立	水都 (みと)	高等学校	水の都である西条で、穏やかな水流のように日常を送ったり、激流のように学校行事や部活動に取り組んだりする学校になってほしいという願いを込めました。

【振興計画における仮称】

愛媛県立	周桑 (しゅうそう)	高等学校
------	---------------	------

【現校名】

愛媛県立	小松 (こまつ)	高等学校
------	-------------	------

○西条総合科学高校（仮称）における校名案の候補及びその理由等

※50音順

校名案 ※（ ）は読みがな		中学校や高校から提出された思いや願い、考えた理由	
愛媛県立	石鎚実業 (いしづちじつぎょう)	高等学校	石鎚山のように立派な高校になってほしいという思いを込めました。実業という言葉には、生産的・経済的な事業という意味があります。
愛媛県立	彩華総合 (いろはそうごう)	高等学校	「彩」には、一人一人が能力や個性を発揮できる学校になってほしいという思いを、「華」には、才能の華が咲き誇る学校になってほしいという思いを込めました。
愛媛県立	桜果 (おうか)	高等学校	たくさんの優れた才能が集まり、新しい社会を切り拓く人材を育てる新校で、桜のように美しい花を咲かせ、果実をしっかりと実らせてほしいという思いを込めました。
愛媛県立	才華 (さいか)	高等学校	優れた才能が集まる学校になってほしいという思いを込めました。
愛媛県立	西条技術 (さいじょうぎじゅつ)	高等学校	様々な分野に特化した多彩な学科において、生徒一人一人が高度な専門的技術や技能を習得し、将来、全国各地で優秀な技術者として活躍してほしいと思いました。
愛媛県立	西条総合科学 (さいじょうそうごうかがく)	高等学校	学校のある地域と学校の特色が名前に入っていて分かりやすいからです。また、新校は、さまざまな知識を学んで、地域社会に貢献できる学校だからです。
愛媛県立	東予 (とうよ)	高等学校	地域の名前をそのまま残してほしいと思いました。
愛媛県立	東予技術 (とうよぎじゅつ)	高等学校	専門的な技術を学び、その技術を様々なところで生かすことができると思い、「技術」という言葉を名前に入れました。
愛媛県立	東予工科 (とうよこうか)	高等学校	工科とは、「工業や工学などの専門的な学業、学科」という意味なので、工業などの専門的な分野が中心の新しい高校に合っていると思います。
愛媛県立	東予総合 (とうよそうごう)	高等学校	「東予」にできる学校で、東予（工業）・丹原（農業）・小松（家庭）の学科の特色に加え、総合学科も創設され、たくさんの学びや出会いがある学校をイメージしました。
愛媛県立	東予総合科学 (とうよそうごうかがく)	高等学校	東予地域に密着した学科（農業科、工業科、家庭科）と総合学科を兼ね備えた多様な学びが充実した学校として、東予の産業に寄与できるイメージで名付けました。

【振興計画における仮称】

愛媛県立	西条総合科学 (さいじょうそうごうかがく)	高等学校
------	--------------------------	------

○しまなみ海洋高校（仮称）における校名案の候補及びその理由等

※50音順

校名案 ※（ ）は読みがな			中学校や高校等から提出された思いや願い、考えた理由
愛媛県立	今治島 (いまばりしま)	高等学校	二つのキャンパスはどちらも島にあるので、「愛媛県」の「今治」にある「島」の学校であることを、校名でアピールしたいと思います。「島高」と呼んでほしいです。
愛媛県立	橋繋 (きょうけい)	高等学校	「繋」には「きずな」の意味があります。キャンパスが離れていても、「橋」で「繋」がる「きずな」を大切に、新たな学校として発展してほしいという願いを込めました。
愛媛県立	しまなみ	高等学校	「しまなみ」は全国的に認知され、親しみやすくシンプルで唯一無二の呼び名です。また、しまなみには海と山があり、水産と農業を学べることを分かりやすく表現しています。
愛媛県立	瀬戸内湊果 (せとうちそうか)	高等学校	「湊」には「活気があふれる」、「果」には「成し遂げる」という意味があります。また、「湊」は海に関係し、「果」は果実のことなので、2つのキャンパスに関係しています。
愛媛県立	伯大 (はくおお)	高等学校	新しい学校になっても伯方分校と大三島分校のよさはそのままであってほしい、伯方島と大三島を多くの人に知ってほしいと考え、伯方の「伯」と大三島の「大」を合わせました。

【振興計画における仮称】

愛媛県立	しまなみ海洋 (しまなみかいよう)	高等学校
------	----------------------	------

○八幡浜高校（仮称）における校名案の候補及びその理由等

※50音順

校名案 ※（ ）は読みがな		中学校や高校から提出された思いや願い、考えた理由	
愛媛県立	八石ミライ (はっせきみらい)	高等学校	統合する3校の校名から文字を取って「八石」にしました。生徒それぞれの未来が実現できる学校であってほしいという願いを込めました。
愛媛県立	八幡浜 (やわたはま)	高等学校	八幡浜市唯一の高校として、多くの人に認知されやすく、シンプルで分かりやすいと思います。現存する校名と同じですが、広く知れ渡っているなじみやすい名称です。
愛媛県立	八幡浜総合 (やわたはまそうごう)	高等学校	八幡浜の地に生まれる、3つの高校が合併し、普通科・商業科・工業科・総合学科が統合された、新しい可能性に満ちた高校で、様々な分野を学ぶ生徒を想像して考えました。

【振興計画における仮称】

愛媛県立	八幡浜 (やわたはま)	高等学校
------	----------------	------

○宇和島南高校（仮称）における校名案の候補及びその理由等

※50音順

校名案 ※（ ）は読みがな		中学校や高校等から提出された思いや願い、考えた理由	
愛媛県立	愛海 (あいうみ)	高等学校	「愛」には、「誰からも愛される学校」という意味を、「海」には、「海のスペシャリストを育てる」、「海外で活躍できる人材を育てる」という意味を込めています。
愛媛県立	宇和島翔南 (うわじましようなん)	高等学校	宇和島南の「南」に、2つの学校が1つになって新しく羽ばたいていきますようにという願いを込めた「翔」を組み合わせました。
愛媛県立	宇和島南海輝 (うわじまなみき)	高等学校	宇和島南中等教育学校（南）と宇和島水産高校（海）が統合されることによって、南海の地で新たに輝き出すような力強い学校になるように願いを込めました。
愛媛県立	宇和島南水 (うわじまなんすい)	高等学校	宇和島南中等教育学校の「南」と、宇和島水産高等学校の「水」を合わせました。両校の名前の一部が入っていると、両校の特色を生かした学校になると思いました。
愛媛県立	宇和島南 (うわじまみなみ)	高等学校	「宇和島南」としての誇りを忘れず、これからも引継ぎに奮闘し、新しい学校を盛り上げていってほしいと思いました。
愛媛県立	南海 (なんかい)	高等学校	宇和島南高校の「南」と、宇和島水産高校の「海」を合わせて考えました。2つの学校の名前を残すことで、特徴を融合させた学校になってほしいという願いを込めました。
愛媛県立	南海早生 (なんかいわせ)	高等学校	「南海」は四国沖の海を指していて、「早生」には成長が早いという意味があります。穏やかで明るい、地域を盛り上げてくれるような学校になってほしいと思います。
愛媛県立	美波 (みなみ)	高等学校	宇和島水産高校周辺の宇和海の美しい景色や穏やかな波と、宇和島南中等教育学校の南をかけ合わせました。両校のよさを生かした、新校の発展を願う気持ちが込められています。

【振興計画における仮称】

愛媛県立	宇和島南 (うわじまみなみ)	高等学校
------	-------------------	------

○愛媛風早高校（仮称）における校名案及の候補びその理由等

※50音順

校名案 ※（ ）は読みがな		中学校や高校から提出された思いや願い、考えた理由	
愛媛県立	風早 (かざはや)	高等学校	「風早」という北条地域の呼び名を残したいと思います。そして、これからも学校と地域を大切にしてほしいという願いを込めました。
愛媛県立	風早清新 (かざはやせいしん)	高等学校	親しみのある「風早」に、「新しく清々しく生き生きしていること」を意味する「清新」を合わせました。新しい風の吹く北条で、新鮮な気持ちで勉学に励んでほしいです。
愛媛県立	風光 (ふうこう)	高等学校	北条地域は自然豊かで美しいので、自然の美しい眺めを指す「風光」を考えました。新校で、感動するような自然の景色に出会い、充実した高校生活を送れるように願いました。
愛媛県立	北条 (ほうじょう)	高等学校	地域の方々に慣れ親しまれ、愛されてきた現在の校名を引き継いだほうがよいと考えました。これからも地域の方々に愛される高校になってほしいと思います。

【振興計画における仮称】

愛媛県立	愛媛風早 (えひめかざはや)	高等学校
------	-------------------	------

【現校名】

愛媛県立	北条 (ほうじょう)	高等学校
------	---------------	------